



南国市長
小笠原喜郎

県下の先進地をめざし

産業と学園のまちに

あけましておめでとうございます。皆様、お揃いで和やかなお正月をお迎えになったことと拝察致します。

南国市の行政の根幹は、今年も財政再建、空港整備、同和対策ですが、それに加えて国の行政改革の影響を受けざるを得ません。

いろいろな議論の余地はありますが、国の意向するところを真剣に受けとめるべきです。安定度の高い、いわゆる足腰の強い自治体に成長するために、ある程度の支障はあってもよく消化しながら行政の効率化、合理化につとめ、地域の特長を生かしていくべきだと思います。

空港と大学のある田園都市・南

12月定例市議会

十二月議会は、十一日から三十一日までの十一日間の会期で行われましたが、議長交代をめぐって、開会時間が大きく遅れるというハプニングがありました。

初日は、各委員会の構成、役員選任、提案理由の説明。一般質問は十五日、十六日の二日間、岡林、小沢、溝渕、井上、山崎、徳橋、竹内、高島、堀川の九名の議員がいろいろの角度から「市政」をたどしました。三度目の修正案が出た解放団体への補助金については、三月、六月の原案否決とは一転して、可決されました。

一般質問（答弁のあらまし）

○財政再建

◆今行われている行革にはいろいろな見方があるが、私（市長）は賛成です。

◆五十年当時の財政再建審議会の答申を読み直し、実行できるものは行って、真の危機に直面する前に、職員とよく討議して、とり組みます。

◆まだ、大変な危機とまではいつてないので、五十七年度は本予算（暫定でなく）を組みます。

◆財政悪化の原因は、手厚い福祉や人件費、過去の手を広げすぎた事業などでしょう。しかし、市民要求は複雑で多く、財政は苦しくても応えなければならぬことも事実です。市の借金は、一年に十四億円（普通会計）が限度でしょう。

◆固定資産税の引き下げの必要性はわかりますが、もう少し財政状況を見てから決めます。

◆二階ハウスへの課税は、四国では行われていませんので、少なくとも数年は考えられません。

○空港

◆コンター図の拡大は、南国市の特異な条件（夏の湿度、冬の季節風など）を考慮してどうよう高知県へ申し入れています。

◆吾国山の跡地利用は、45%にカットした場合、排水に問題が残りますので、明見川などの河川改修を第一に検討しています。

○同和対策

◆南国市の同和対策は、まだ十分で、建設、教育、就労などの面に力を注がなければなりません。団体補助金は、各団体の長年の苦勞が金額にも関係しています。十分ですが、有効に使ってください。

◆前浜の小集落整備事業は、むつ



南国市議会議長
島内 正雄

英知を結集して

市勢発展の年に

市民の皆様、あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで、希望に満ちた、よいお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

激動の時代と言われている八十年代も今年は第三年次で、予測されたとおり、国際情勢は依然ほとんどし、世界平和の夢はかなうべくもありません。

また、国の政治も、行政改革の名のもとにきびしい年になることは容易に想像できます。

さて、南国市積年の課題である財政問題は、ますます深刻化しており、予算は許されませんが、英知を結集して最善の努力をすれば道は開けるものと信じています。幸いに南国市は、他市に比べて、

あらゆる面で好条件下にあり、今年も明るい希望もてる年だと確信しています。

それは、空港拡張本工事及びその関連事業並びに民家防音工事、周辺整備事業など、予算的にも見通しは明るいからです。

また、四国横断自動車道及び関連する東バイパス工事、そして木材団地の操業開始、国立医科大学付属病院の開院など県下第二の都市として、発展の基盤は、着実に整備されつつあります。

このような開発事業に伴う環境対策事業は、建設、産業経済、教育と広範囲におよび、市勢発展と市民生活の向上に結びつくものであり南国市だけが経験できること

です。

その他、同和問題や青少年問題など山積する重要課題はありますが、いずれも執行部との連携を保ちつつ激動の八十二年、行革の五十七年を南国市発展の年とするよう議案を挙げて取り組む決意でございます。

昨年、皆様にご意見をいただきました議長任期の件に簡単に触れさせていただきますと、過去の慣例や申し合せは五十二年に遡法性があるとして破棄され、法律通りの四年のルールが確定されています。もし、議長任期の基本となる絶対的なルールが簡単に無視されるようなことにもなりません。

議会倫理はすたれ、混乱は免れません。このような議員自らの自己否定的行為はあろうはずがありません。

今後、議会は、課せられた責務を自覚しつつ努力することをお約束し、さらに一層のご協力とご支援をお願いするとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

可決された主な議案

◎国民健康保険―助産費引き上げ
国保の被保険者の助産費として一件八万円を支給（五十五年から）

かしい面もありますが、同和対策が三大施策の一つである以上、やらなければなりません。私（市長）が陣頭にたちます。いま、東組、浜津、下島浜を調査中で、一月中には終る見込みです。

◎環境
◆し尿処理場は、岡豊町港本へ設置すべく取り組んで三月月になりませんが、今の所反対の声は聞いていません。地元や廃棄物処理委員会とよく相談して進めます。

◆養鶏の悪臭は、何度もの指導で二割ぐらいが改善されています。まだ、たれ流しなどの問題が残っていますので、全力をあげます。

◎農業
◆五十六年の振作は、一、八四四の配分に対して、一、九二六が行われました。五十七年もこの程度を考えている（高知県が）ようですが、正式な通知はありません。

五十七年は、実績の踏襲ではなく、協力した方とそうでない方の格差をつけるための新しい基準をつくることを考えています。

計画計算は、従来通り南国市一本で進みます。

していますが、他の社会保険と比べて低いため、三月一日から十万円に引き上げます。

◎新たに市道になりました。
小笠原北線（百三十三）と、岡分野中北線（百三十三）と、笠ノ川島屋敷線（百五十一）と、片倉北側線（百六十六）と、包末東西線（三百五十二）と、直道線（三百七十七）と。

◎後免町で町区、名称が変更
三月一日から後免町の大部分が整理区分されます。

◎一般会計一億五千万円弱を補正
歳入の主なものは、市税九千万円、国庫支出金四千万円弱。

歳出では、人事院勧告による職員給与など八千二百万円、地方バス路線維持に五百万円、大篠保育所用地買収追加分千八百万円、前浜小集落地区改良に八千万円、老人医療費二千三百万円、農林業関係補助九百五十万円、市道小笠原北線用地買収千三百五十万円、災害復旧事業千五百万円、今までの借金の元利償還金四千七百円など。その他、旧後免保育所跡地整備、国鉄後免駅前自転車置き場整備、不燃物埋立用地取得、街路灯設置（宇田）などが行われます。

◎空港周辺整備事業補正予算
二千三百万円を補正して、総額九億円強になりました。